

『張韶老師の二胡講座：下巻』をお買い上げの皆様へ

本書を手にとりていただいていたほうがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。二胡についてのあんなこと・こんなことをもっと知って、あなたと二胡の出会いが、より実りあるものになるために、本書が少しでもお役に立てれば幸いです。

なお、本書上巻をお持ちの方は、申し訳ありませんが、下記についてご訂正お願いいたします。また第2刷（奥付に明記しています）では①の項目を、第3刷では①②の項目を訂正しています。

正誤表 (2013/04/05)

訂正箇所	誤	正	備考
巻頭 vii 頁【五】 (1)① 4行目	(例えば <u>7</u> なら <u>7</u> になる)	(例えば <u>7</u> なら <u>7</u> になる)	下点のずれ
① 巻頭 目次 4頁め 左	48. 蝸牛与黄鸝鳥	48. 蝸牛与黄鸝鳥	間違いではないが「黄」を常用漢字に
巻頭 目次 4頁め 左	99. 歡聚	99. 歡聚 (幸福)	張韶氏の意向による
① 巻頭 目次 4頁め 右	114. 鸚鵡 インドネシア民謡	114. 鸚鵡 (オウム) インドネシア民謡 張韶訂弓指法	原著者の張韶氏に確認が取れたので追加
巻頭 目次 5頁め 右	200. 第二把位泛音練習 (…略…) (映画『売花姑娘』挿入曲より)	200. 第二把位泛音練習 (…略…) (映画『売花姑娘』挿入曲などより)	
① 巻頭 目次 最終頁	十四、二重奏	十五、二重奏	
① 巻頭 目次 曲 219	哎呀, 媽媽	哎哟, 媽媽	アイヤでなくアイヨ
② 7頁本文 下から3行目	高音板胡よりと	高音板胡より	
18 頁【譜例2】老簧調 第15小節			弓が合わないので原著者の張韶氏に確認のうえ訂正
26 頁【譜例5】光明行 第118小節			5の上点削除、の位置調節。『劉天華創作曲集』『劉天華全集』もであり、原著はこれを踏襲したものか
② 27 頁 訳注5 7行目	肖伯青	蕭伯青	肖は蕭姓の俗字として使われるが、他所では「蕭」と表記しているので (54 頁蕭白鏞など) 統一した
② 37 頁 訳注4 最終行	戻ってきたのであろう	戻ってきたのであろう。	句点「。」が抜けている
① 50 頁 訳注1 4行目			ふりがなの間違い
① 51 頁 訳注1 2行目	大揉 (→【§8の5】)	大揉 (→【§81の(5)】)	
① 51 頁 訳注1 下から2行目	また速度は、表記がない、	また速度は、速度表記がない	「ない」の次の「、」を削除。ついでに「表記」を「速度表記」と改めた
① 54 頁 「椰子風」解説	(椰子 (→15 頁コラム) の曲調)	(椰子戲 (→15 頁コラム) の曲調)	このほか、椰のフォントをゴシックから明朝に
① 54 頁 「春詩」鍾義良の略歴2行目	恒星南寧地区民族歌舞団	江西南寧地区民族歌舞団	
① 55 頁 「草原上」湯良徳略歴	湯良徳 (1938.3 ~)	湯良徳 (1938. 3.31 ~ 2010.8.31)	生没年は香港中楽団 HP、2011 年 11 月 25、26 日の湯良徳記念音楽会 (http://www.hkco.org/ActivityDetail.aspx?ractivity=0&ainfo=290&lang=M) より
① 60 頁 「奔馳在千里草原」解説	1963 年の作品	1972 年の作品	
① 67 頁 訳注3	1cmm = 0.1cm	1cmm = 0.01cm	
② 71 頁 本文	「手が小さかったら 37.5 センチ」に訳注3	「高さは 39 センチが適切で」に訳注3	
② 71 頁 訳注3	・訳注3の内容を以下に差し替える 千斤の高さについて、例えば十三堂楽器店長兼講師の陳裕堯氏によると、現在の二胡では 40 センチが適切とのこと。ただし全ての二胡に厳密な統一規格があるのかは未確認なので、この 39 センチという数値は、そのあとの本文にある手が小さい方のためのサイズ 37.5 センチ (原著者張韶氏の話では、これでも大きかったら 36.5 センチでもよいとのこと) や子どもサイズ 33 センチ等の数値とともに、ある程度の幅をもったものとしてとらえていただきたい。		
② 76 頁 訳注2 1行目	二胡の二胡の本質	二胡の本質	

②	86 頁 訳注1 1行目	原著の文章の文章を	原著の文章を	
①	89 頁 訳注1 6行目	『二胡レパートリー 楽しくかなでる二胡』	『二胡レパートリー 楽しく奏でる二胡』	
①	89 頁 訳注2 2行目	宮・商・角・徴・羽	宮・商・角・徴・羽	「徴」は旧字。間違いではないが本書の体例に従うと常用漢字の「徵」になる
①	89 頁 訳注2 3行目	角調式・羽調式	角調式・徴調式・羽調式	
①	107 頁 訳注1 5行目		ㄣ	ㄣ の位置のずれ
①	107 頁 訳注5 1行目	『二胡曲集合訂本・第一集至第五集』	『二胡曲集合訂本：第一集至第五集』	他所にあわせ「・」を「:」に
	114 頁 訳注4 最終行	なお【譜例 50】は歌そのものではなく京胡による伴奏譜である	(左の文章を削除)	同注の1行目に同趣旨の文章が入っているため内容が重複
②	117 頁 2行目	順向(→【§ 59の(三)】)	順向(→【§ 59の(三)】)) が抜けている
②	119 頁 訳注 5 2 行目	また『劉天華全集』の練習曲や台湾の『南胡教本』など	また『劉天華全集』の練習曲など	『南胡教本』のローマ数字は把位ではなく運指を示す
①	124 頁 譜例 74 第4小節第2拍裏	ḡ	ḡ	
①	124 頁 訳注1 1行目	ゼクエンツ (equenz)	ゼクエンツ (sequenz)	
①	128 頁 訳注2 3行目		「w」	」が記号と重なり消えている
①	134 頁 本文 2行目	長2度 (→【147 頁コラム】)	長2度 (→【143 頁コラム】)	ページ数の間違い、】が抜けている
①	134 頁 訳注1 1行目	ままならならず	ままならず	
②	140 頁 訳注 1 2 行目	Motdent	Mordent	
	142 頁 訳注2、3	<p>・訳注2、3の内容を以下の文章に差し替える。 2 もちろんそれ以外のパターンもありえる。下記訳注3参照。なお保留指に記号 T が使われることもある (→下巻【曲 66】原注および訳注2)。 3 特に「顫音」(→【§82】)の場合、本音をおさえる指はかならず保留すること。例えば D 調4の顫音は三指を保留し四指でかける。</p>		
①	147 頁 訳注 13	Henri Schradieck	Henry Schradieck	
②	169 頁 16 の訳	憂い怨んで	憂え怨んで	
①	172 頁 299 の訳	(stupid)	(subito)	stupid = 愚かな
①	172 頁 324 の訳	a piasere	a piacere	ア・ピアチェーレ イタリア語
②	174 頁 訳注1	I ~ IIIの表のうち、	I ~ IIIの表のうち、	、の重複
②	補 一頁左 二胡テキストの項7、9行目	人民音楽出版社、1997年 第九級—第十級』中国音協 全国楽	人民音楽出版社、1997年) 第九級—第十級』中国音協全国 楽)) が抜けている (が抜けている。
②	補一頁右 二胡曲集・二胡曲解説・二胡人物解説の項 17 行目	劉育熙主編	劉育熙主編	熙の字がすぐ下の行と不統一なので統一
①	補 六頁右 下から 11、13、14、15 行目	hénán héběi	Hénán Héběi	大文字の用い方は辞書や教科書によって異なるが本書では不統一であった。ここではとりあえず小学館『中日辞典』(1992 版) に準じて大文字に
①	補 六頁右 下から4行目	蝸牛与黄鸝鳥	蝸牛与黄鸝鳥	間違いではないが「黄」を常用漢字に
①	補 七頁左 18 行目	哎呀、妈妈(哎呀, 媽媽 aiyā māma) → 「私を叱らないでママ」	哎哟, 妈妈(哎哟, 媽媽 aiyō, māma) → 「私を叱らないでママ」	アイヤでなくアイヨ。また最後のかぎかっこ前の後ろの空欄削除
①	補 七頁左 下から 16 行目	汉宫秋月 Hà'n gōng qiūyuè	汉宫秋月 Hàngōng qiūyuè	ong というピンインはないため付ける必要はないということで削除
①	補 七頁右 3行目	「喜公送糧」を見よ	「喜送公糧」を見よ	
①	補 七頁右 15、16 行目	jīngyùn jīngjù	Jīngyùn Jīngjù	小学館『中日辞典』(1992 版) に準じて大文字に

①	補 七頁右 「く」の項 5行目	124 頁、	124 頁 (跳指譜例)、	
①	補 八頁左 上から8、 9行目五度人工泛音…		◇ 6	泛音記号◇の位置が3箇所とも上にずれている
①	補 八頁左 上から8行 目、五度人工泛音…	rén'gōng	réngōng	ong というピンインはないため隔音記号を付ける必要はない
①	補 八頁左 上から22 行目、江西山歌	shāngē	shān'gē	
	補 八頁左 上から22 行目、江西山歌の下	次の一行を追加 ・幸福 (幸福 xìngfú) → 「歡聚」を見よ		張韶氏の意向による
①	補 九頁左 上から16 行目	(chǔshì nán)	chǔshì nán)	cの左の (は不要
①	補 一〇頁右 上から1 6行目	曲 196	曲 196 (憶江南)	「お」の項「憶江南」に「長弓練習を見よ」とあるが、「長弓練習」が複数あるので区別するため付け加える
①	補 一〇頁右 下から1 0行目	dùn'gōng	dùngōng	ong というピンインはないため隔音記号を付ける必要はない
①	補 一一頁右 「は」の 項1行目	(màihuā gūniáng))	màihuā gūniáng)	mの左の (は不要。また右端の)が多い
①	補 一一頁左 「ひ」 の項8、10行目行目	眉戸 (鄜鄜) 調 méihù diào	眉戸 (鄜鄜) 調 Méihùdiào	戸を中国語フォントに。また小学館『中日辞典』(1992 版)に準じてMを大文字にし、さらに他の例に準じて分かち書きをしない
①	補 一一頁 下から3、 4行目	大滑音譜例)・ 漂泊者之歌	大滑音譜例) ・漂泊者之歌	・は下から4行目の冒頭に
①	補 一二頁左 「め」の 項2行目	迷胡調調 (迷胡調 míhúdiào)	迷胡調 (迷胡調 Míhúdiào)	調の字が多い、Mは大文字に、他の例に準じて分かち書きをしない
①	補 一二頁右 2行目	Liú Sanjiě	Liúsānjiě	三姐は「3番目の娘」くらいの意味らしいので実際固有名詞扱いなのかどうか。とりあえず王三姐の表記に準じる
①	補 一二頁右 「れ」の 項4、6、8行目	liándùn'gōng	liándùngōng	ong というピンインはないため隔音記号を付ける必要はない
①	補 一二頁右 「る」の 項	流浪者之歌 (流浪者 之歌 liúlàngzhě zhī gē) → 「ツィゴイネルワイ ゼン」(日本・外国の 項)を見よ	・「流」→ 「りゅう」(り) の項を見よ	普通は「るろうしゃ」と読むので「り(りゅう)」と「る」のどちらからも検索できるようにここにも書いておいたが、他所の体例に準じて「流」の字からはじまる項目をまとめた
①	補 一五頁左 「こ」の 項9行目	Wú Míngxīn g	Wú Míngxīn	馨は漢和辞典の『新字源』では xīng であったが一般的には xīn。
①	補 一五頁右 7行目	(張曉峰との共作)	(張曉峰との共作)	旧字・新字の統一
①	補 一六頁左 「そ」の 項1行目	Sū Ānguó	Sū Ān'guó	
①	補 一六頁左 「ち」の 項9行目	(朱曉谷との共作)	(朱曉谷との共作)	旧字・新字の統一
①	補 一六頁 右5、6行目		110 頁、155 頁を追加	
①	補 一六頁右 17行目		(曲 115) を追加	確認が取れたので追加
①	補 一六頁右 下から2 行目		陳振鐸	鐸の字のフォント統一
①	補 一七頁左 「て」の 項5行目	曲 105	(曲 105)	編曲なのでかっこに入れる
①	補 一七頁左 「は」の 項5行目	Bái jié ..	Bái Jié ..	白潔の i は小文字
①	補 一七頁左 「ひ」 の項4行目	Mín Jijiǎn	Mín Jiqiǎn	関季騫の騫には2種類の発音があるが一般的にも意味からしても qiǎn のほう
①	補 一七頁右 下から3 行目	41頁／	41頁注／	
②	補 一八頁左 「り」の 項最終行	Lín Jiànchāng Lín Jiànchāng	Lín Jiànchāng	林建昌 のcは小文字、あるいは字の重複
②	補 一八頁左 「い」の 項「イザーイ」	ugè-Auguste Ysaye	Eugugè-Auguste Ysaye	

②	補 一八頁左「か」の 項「カイザー」	Heinrich Ernst KayserKaiser	Heinrich Ernst Kayser	
①	補 一八頁 右「し」 の項「シュラディエック」	Henri Schradieck	Henry Schradieck	

【補足】

1 üを含むピンインは既存フォントでうまく表示できないため、それを含む項はフォントを変えています。

230 頁 本文6行目「流麗な文章をものしました」の「ものする」は「書く」という意味です。わかりにくい言葉を使つてすみません。

3 157 頁図中の「根本」は、「ねもと」と読む場合は「根本」「根元」どちらの表記も可能なようです。ただ、「根元」の方がわかりやすかったかなと思います。